

### ③ 意見交換会

< 概要 >

次のとおり意見交換会を実施しました。

#### 開催日

令和7年4月11日

#### 対 象

ながさき若者会議、FG長崎2045

#### 意見交換会の内容といただいたご意見

班ごとに、長崎市の問題点や課題、このような過ごし方ができるまちになって欲しい等の意見を付箋に記載し、発表していただきました。次に、どのような対応が必要かを議論していただき、最後に班ごとにまとめた内容を発表していただきました。

#### 参加人数

15人

#### 意見交換会の様子



## ③ 意見交換会

<ご意見> A班

### ① 問題点・課題、過ごし方に関するご意見

#### ● 都心部

- 各地域に子どもが思い思いに遊べる場所がない
- 子ども・若者がやりたいことを気軽に言える場所や仕組みがない
- 地域の人々が快適に移動できていない
- スポーツの力で県外からたくさんの人々が訪れている
- ロープウェイ乗り場の入口がわかりにくい
- 学生が無料で勉強できる場所が少ない
- 気軽に表現できる場（音楽・アート・クリエイティブ）がない
- 気軽にイベントを開ける交流スペースが欲しい
- 若い人が集まって共通の趣味などを共有や表現できる場所がない
- 中高生などが悩みなどを相談できる場所（コースセンターなど）がない
- リモートワーカーが長崎を第2の拠点として働けるような受け入れ環境がない

#### ● 地域拠点・生活地区

- リモートワークができる場所がない
- 人があたたかい
- 気軽に自然を楽しめる場がほしい
- 若者が自然に触れ合える新しい遊び場がほしい
- 子どもに関する活動団体・NPO法人などがちらほらある
- 空き家、空き施設などが多数ある

#### ● 斜面地

- 車が入れない場所があり不便
- 空き家が問題となっている

### ② ①を踏まえ、どのような対応が必要と考えるか

#### ● 都心部（基盤づくり）

- 道路空間で勉強や仕事ができるような机や机がある
- 市民活動センター「ランタナ」をメルカ築町やまちなかへ移動させる
- 多様な文化に触れあえる空間をつくる
- 若者が自然と集まれるユースセンターをつくる（かっこよくて、訪れやすく、相談しやすい空間）
- 官民が連携し、民間企業の施設などにおいても若者のたまり場をつくる
- 県庁跡地を若者の交流の場に活用する
- 浜町で通行者が気軽に立ち寄り憩えるようなまちなか広場があればよい
- ロープウェイ乗り場の入口に電子案内板を設置する
- モビリティで海を感じながら移動できたら回遊しやすくなる

#### ● 都心部（仕組みづくり）

- 平和に関連する産業を生み出す
- アジアに近いという地理的特性を活かして、アジアとの連携ビジネスを構築する
- 長崎の多様性を市内外に向けてもっとPRする
- 歴史をつなぐ意味でも長崎が発展するきっかけとなった国際交流を推進していく
- みちあそびができるような仕組みをつくる（優先道路の指定など）
- 空きがある市営住宅において、若者のアーティストを対象に格安アトリエとして貸し出す
- 行政お墨付きのアーティスト登録制度
- 若者が集まる場の空き状況や利用状況などの情報がすぐわかるサイトやアプリの開発・普及
- 利用されていない公園が多いためテーマ別（スケボー・子ども優先・表現活動など）で公園を設定する
- 行政が運営する検討会や協議会に市民が参加できることを知らない人が多いため情報発信を行う
- 若い人が検討会や協議会に入れる仕組みを構築する
- 子どもの声を聞く法律の認知

#### ● 斜面市街地（仕組みづくり）

- ライフステージに応じて住まいを選択できる仕組みを構築する
- 車が入らない場所などを次世代型モビリティで移動

#### ● 地域拠点・生活地区（基盤づくり）

- スーパー・ドラッグストア以外にもゆっくりできるカフェとかがあれば集まりやすい
- 子どものたまり場をつくる
- 自然や芸術に触れる空間をつくる

#### ● 地域拠点・生活地区（仕組みづくり）

- 子育てがしやすい仕組みをつくる
- 若者が行っている取り組みや得意分野などについて、呼びかけに応じて、若者が公民館などに出張しワークショップや講演会を開く（若者と高齢者の交流促進）
- 若者向けの安い市営住宅をつくる
- リモートワークできるコワーキングスペースを都心以外にもつってほしい

#### ● 都心部と周辺部のつながり（基盤づくり）

- 空港と都心部をつなぐ

# ③ 意見交換会

<ご意見> B班

## ① 問題点・課題、過ごし方に関するご意見

- 海がきれいで魚が美味しい
- 物価（家賃、駐車場代、ガソリン）が高い
- 交通渋滞がひどい
- バスの便数が少ない
- 活動拠点に悩む人が多い
- 優しい人が多い
- 若者が少なく、高齢者が多い
- 坂道が多い
- 産業を確立し所得を上げていかなければどうしようもない。  
長崎市は地形的制約から製造業等が立地しづらいため場所を選ばない産業に力を入れていかなければならない。具体的には、IT・金融、そして平和を活かした取組みで仕事をつくり所得を上げていくべき。トークンエコシステム、エアモビリティ、ドローン（レベル4）、オプティマス人型ロボット、メタバース、ステーブルコイン、DeFiといった仕組み等を活用し、長崎からもう一度産業革命を起こすべき。
- 働きながら地域交流も活発なまちになって欲しい
- 場所を選ばない働き方ができるまちになって欲しい
- 「ナイトエコノミー」「眠らない街」のような場所をつくる
- タイムトリップツアーをしたい

## ② ①を踏まえ、どのような対応が必要と考えるか

- 人中心の歩いて楽しい都市空間とするため、電動自転車を導入すべき
- 交流創出や多様な活動の実現のため、空きスペースや指定管理制度を導入している公共施設の活用を図って欲しい。高浜アイランドにあるテレワーク施設は利用者から好評をいただいているがあまりその存在を知られていないもっと活用できる余地があると思っている。
- 市から交通系事業者への補助金交付や市外通勤通学者への定期代補助、若者の移住に関する補助金、ふるさと納税の積極的な推進を行うべき。
- 長崎市民は教育や金融に関するリテラシーが低い。長崎市ではあじさいペイの推進を行っているが、市民が域内で経済を循環させることの重要性を認識できていない。啓蒙活動を行うべき。
- 何かを考えさせるイベントを増やしたらどうか。
- パブリックコメントのAI化を図るべき。一部だけでなく、多くの市民の意見を聴く仕組みをつくりAIを活用し意見のグルーピングを行うと良い。

### ③ 意見交換会

<ご意見> C班

#### ① 問題点・課題、過ごし方に関するご意見

##### ● 都心部

- 様々な魅力があるが、情報が効果的に発信されていないため、様々な媒体を活用した情報発信が必要。（例：TikTok広告、ゲームへの広告、旅行者に発信させる（情報発信にインセンティブ付与）、ラッピングバス、フォトコンテスト）
- 新しい取組みを行うにもプレイヤーがいない。プレイヤーを増やす仕組みが必要。
- コンパクトな市街地を活かし歩きたくなるまちづくりをした方がよい。（例：弱虫ペダルのマンホール探し、ウォーキングイベントで文化・観光を行う、若者が参加するイベントや仕組み、歩くことで保険料が下がる仕組み、さるく開催）
- 地域を元気にする魅力的・特徴的な人材を活かす（例：名物おじさんを集める）
- プロスポーツチームがあることは大きな魅力
- 医療が充実しているまち
- 若者がイベント運営する側になりやすいまち
- 歩くことにメリットを感じられるまち

##### ● 地域拠点・生活地区

- 便利で安く移動できる仕組みづくりが必要（自転車など）
- 周辺部を観光しても、目的地とした施設以外の観光・体験に関する情報が得にくい  
（例：プラス1の観光体験を提案）
- 自然を楽しめる観光地周辺の利用がしやすいまち

##### ● 斜面地

- 自然を身近に感じることができる（海・山が近い）
- 斜面地はマイナスの側面もあるが、歩くことで健康増進につながる魅力もある
- スープが冷めない距離間での人づきあいができるまち
- 支え合いの文化があるまちに
- 斜面市街地が下北沢のようなサブカルチャーの町になり、若者が来たくなる場所になれば
- 災害に強い斜面地
- ゆるく暮らすまち

#### ② ①を踏まえ、どのような対応が必要と考えるか

##### ● 都心部

- やりたいことを仕事にできる仕組み
- 簡単に企業（チャレンジ）できる仕組み
- 外国人観光客が分かりやすい公共交通機関
- 歩きやすい、分かりやすい道路整備
- 県外出身者でも長崎の伝統文化に参加することができる
- 若者ニーズに合わせた場所を作る
- 災害に強いまちづくりとそのための体制づくり（防災公園化する）
- お魚、魚介類が気軽に食べられる場（魚市場等）

##### ● 地域拠点・生活地区

- 人々が（初めまして、県内外も関わらず）気軽に悩みなどを話し合う場の確保（人々コミュニティのつながりを強化）
- 地域拠点が大きな避難所になれるように防災機能を高める
- 公共交通機関ではなく、自動車・自転車・個人タクシーの強化
- まち歩きすぐろく大会との協力
- 世代問わず過ごせる場（老若男女、動物、障害のある方）を確保し、交流・出合いやチャレンジにつなげる
- 様々な魅力を持った地区が多いが、魅力を活かす取組みを行うにしても中途半端になるため、モデル地区を作るなど、尖った魅力を顕在化する

##### ● 地域拠点・生活地区（北部地域）

- バスフリーDAYの実施（市が助成）
- ラッピングバスの増便
- 長与と連動しベッタタウンとしての魅力向上を図る

##### ● 斜面地

- 移動しやすいモビリティの導入
- 空き家の活用支援
- 斜面地でのイベントをインターネットで発信していく
- 長崎みなとまつりなどの花火を見るスペースと機会の創出
- 地中海エリアの斜面地のように、屋景も含めたまちづくり
- 斜面地特有の魅力を発信（ドローンの活用（空から見た）、夜景だけではなく昼景の魅力向上（海外のまちなみなど））